

立志の道



2019. 4. 8 NO.1

発行責任者 校長 小池雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。
校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

新年度がはじまりました

4月5日に、2019年度の新任式、始業式が行われ、6日には、中高合同の入学式が盛大に執り行われました。4月に入ってからの低温で、桜の開花は昨年比べて遅れていますが、もうすぐ春爛漫の美しい季節を迎えます。

40人の新入生とともに、甲陵中学校の新しい春が始まります。

始業式の折、校長は、次のことを新2、3年生に話しました。入学式の式辞でもこれに通じる内容を伝えました。

変化

私は、子どもの頃「校長先生の話は長い！」というイメージを持っていました。すべての校長先生がそうではないので、あくまでイメージです。そこで、私も皆さんに伝えたいことはたくさんあるのですが、これから何度も話す機会もあることから、一回に一つのテーマに絞って話そうと決めました。その日、話をするテーマは「キーワード」で示します。

今日のキーワードはこれです。 「変化」

今年は、5月から元号が変わりますね。大きい変化です。

そうでなくても毎年、春は変化の季節ですね。自分は変わらないつもりでも自然と、周りも変化していきます。学校生活では、新2、3年生のあなた方は、今年マイナーチェンジですね。でも、先ほど発表があったように、新しい校長先生や教頭先生、学年の担当の先生も替わりました。明日には新入生も入ってきます。中には「変化」を不安に思い、警戒してしまう人もいられるかもしれません。新しい人間関係をつくることを面倒くさく感じることもあるでしょう。

しかし、周囲の変化は、皆さん自身にも変化をもたらしてくれます。自分以外の人とたくさん出会って、接することは、自分自身の視野を広げることになります。ウマが合わないかな、と感じる人ほど、新しい刺激を与えてくれます。

私は、皆さんに、自分とは違う価値観に触れ、異なるものを否定するのではなく、認め合えるような関係を築いて欲しいと思っています。そのためには、変化を前向きに受け入れて欲しいです。

そして、学年が一つ上がったこの機会に、自分自身を、より大きく、深く、高く変化させて欲しいと思います。「変化することを、恐れるな。積極的に受け入れよう！」

2019 年度職員構成 高校の先生方など多くの先生が授業に関わってくれます。

校長 小池 雅美 教頭 古屋 啓一

担 当	氏名	担 当	氏名
教務主任 理科 男子バスケ部	小川 庸生	非常勤講師 家庭	谷戸 直子
養護教諭	藤巻 早苗	非常勤講師 技術	坂井 聡
事務主査	渡部 理江	高校講師 国語 1・2年	小澤志保子
1年主任 体育 女子バスケ部	山田 厚一	高校教諭 国語 3年	藤本 恭子
1年担任 英語 箏曲部	大柴 玲子	高校教諭 社会 1・2年	佐藤 琢磨
2年主任 国語 卓球部	清水 増美	高校教諭 社会 1・2年	八巻 拓磨
2年担任 数学 テニス部	横山 裕一	高校教諭 社会 3年	内藤 賢也
3年主任 英語 陸上部	古屋 昌信	高校教諭 数学 3年	中村 稔
3年担任 社会 弓道部	宮内 明子	高校教諭 理科 1年	坂本 敬祥
非常勤講師 英語	島 眞由美	高校教諭 理科 2・3年	山口 昇
非常勤講師 数学	安部 淳子	ALT	ローラ・カズ
非常勤講師 理科	福永 裕幸	スクールカウンセラー	樋口麻貴子
非常勤講師 音楽	清水 里枝	高校司書	小宮山典子
非常勤講師 美術	山瀬由季子		

入学式の場面いろいろ

教室は、美術部による黑板アートで飾られました



堂々とした、決意を感じる誓いの言葉でした

呼名のあとの返事も大変立派でした



生徒会長による、大変素晴らしい歓迎の言葉